

# 令和5年度ICT教育パイオニア校検証方針（抜粋）

## 1. 1人1台タブレットの活用検証

学校及び家庭学習において、こどもたちが自分の考えを広げたり、深めたりするための「学びの道具」として、1人1台タブレットを活用した授業実践を行い、適宜振り返り及び改善を行ってください。

タブレットの持ち帰りについては、こどもたち自身がタブレットを学びの道具の一つとして捉えるとともに、日々の持ち帰りの必要性を判断し、家庭学習で活用できるよう指導を行ってください。

## 2. クラウド・バイ・デフォルトを前提としたネットワーク環境の検証

授業支援ソフトウェア、デジタルドリル、学習者用デジタル教科書、MEXCBTなどの各種クラウドサービスを快適に利用できるネットワーク環境を構築するため、次期更新のアクセスポイント等の検証を行ってください。

## 3. 児童生徒1人1台及び教職員タブレット環境の次期更新に向けた検証

中学校パイオニア校においては、他校に先行して令和6年度の生徒1人1台タブレット及び教職員タブレットの更新を行う予定です。中学校の教育活動に活用できるiOSアプリの選定及びiPadを活用した授業実践等を行ってください。

## 4. 学習者用デジタル教科書の活用検証

令和6年度に予定されている学習者用デジタル教科書の本格導入を

見据え、教科や学習場面に応じた学習者用デジタル教科書の効果的な活用について研究してください。

## 5. テーマ別研究実践

今後の教育データの利活用及び教育DXを見据えて、以下のテーマについて研究実践を行い、実践結果をとりまとめてください。

### ●小牧小：特別支援教育におけるICT活用

（活用できるアプリ選定・活用）

### ●大城小：日本語指導におけるICT活用

（活用できるアプリ選定・活用）

### ●小牧中：いじめや不登校の早期発見・指導におけるICT活用

（いじめSOSボタン、長期入院・不登校児童生徒へのオンライン対応など）

### ●光ヶ丘中：児童生徒のこころの健康観察・相談対応におけるICT活用（TeamsのReflect機能、ロイロノートなどの活用）

## 6. 先進事例の調査・研究

教育現場のビッグデータ（日々の授業のふりかえりや家庭学習で取り組むドリル教材などの学習履歴等）を蓄積・分析した内容を授業改善につなげていくため、全国の先進事例を調査・研究し、情報共有を行ってください。